

令和4年8月 総務委員会  
令和4年8月2日（火）  
〔委員会の概要 未来創生文化部関係〕

増富委員長

ただいまから、総務委員会を開会いたします。（10時32分）

直ちに、議事に入ります。

これより、当委員会の閉会中継続調査事件を議題とし、未来創生文化部関係の調査を行います。

それでは、危機管理調整費の執行について、理事者側から説明を受けることにいたします。

【説明事項】

- 児童等利用施設電気料金高騰に係る緊急支援のための危機管理調整費の活用について（資料1）

上田未来創生文化部長

それでは、この際、1点御報告させていただきます。

資料1を御覧ください。

児童等利用施設電気料金高騰に係る緊急支援のための危機管理調整費の活用についてでございます。

国の新型コロナウイルス感染症対策分科会の方針を踏まえ、児童等利用施設では、コロナの感染急拡大や例年になく猛暑による熱中症に対応するため、換気を行いつつ空調を高頻度で使用せざるを得ず、電気料金の高騰も相まって施設運営に影響を及ぼしています。

こうした状況を踏まえまして、この度、県独自の緊急支援を実施するものであります。

対象となる施設は、社会福祉法人や特定非営利活動法人など、設置目的が公益性と非営利性を備えている法人の施設であり、125施設を想定しております。

内容につきましては、申請に基づき施設種別、規模ごとに一時金として支援いたします。支援額は、7月、8月分の対前年比の電気代高騰分を基に影響額を積算し、施設種別ごとに影響額の平均に対し、半額程度といたします。

事業費は1,500万円で、財源として危機管理調整費を活用させていただきたいと存じます。

報告事項は以上でございます。

御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

増富委員長

以上で説明は終わりました。

これより質疑に入りますが、ただいま説明がありました事項に関連する質疑にとどめたいと思いますので、御協力をよろしくお願いいたします。

それでは、質疑をどうぞ。

#### 須見委員

先ほど部長から説明があった危機管理調整費の活用について伺いたいと思います。

支援の概要につきまして、もう少しスケジュール感などを詳しく説明していただけたらと思います。

#### 高島次世代育成・青少年課長

この度の支援につきましては、新型コロナウイルス感染症の急拡大及び原油価格高騰の影響を受けまして、厳しい運営が続いております社会福祉施設等を支援するため、7月、8月の2か月間の電気料金高騰分の半額に相当する金額を一時金として支援させていただくものでございます。対象施設は社会福祉法人や特定非営利活動法人などで、設置目的が公益性と非営利性を備えております法人の施設を対象といたしまして、当部が所管する児童等利用施設は合計125施設となっております。具体的には、保育所、認定こども園等の117施設、また、児童養護施設、自立援助ホーム8施設でございます。

具体的な支給につきましては、申請に基づき支援するため、対象となる施設に対し速やかに周知を行い、申請の受付を開始できるように準備を進め、できるだけ早期に、8月中に支給できるように努めたいと考えております。

#### 須見委員

施設別での支給額はどんな感じですか。

#### 高島次世代育成・青少年課長

今回の支援の額でございます。

支援額の算出に当たりましては、施設種別、例えば入所・通所施設の定員ごとに代表的な施設において聞き取りを行いまして、施設種別ごとに7月、8月分の対前年度比の電気料金の高騰による影響額の平均を算出したしまして、この影響額の半分程度を支援することといたしております。

具体的には、保育施設については、利用定員を3段階に分け、利用定員が50人未満の施設につきましては1施設当たり4万円、50人から150人未満につきましては8万円、150人以上の施設につきましては12万円、また児童養護施設につきましては12万円、自立援助ホームにつきましては3万円を支給したいと考えております。

#### 須見委員

積算に当たっては、対前年度実績等々の話をされていましたが、今年度新しく設立された施設は対象になるのでしょうか。

#### 高島次世代育成・青少年課長

支援額については、委員がおっしゃったとおり、施設種別、定員ごとに昨年度と比較した電気料金高騰による影響額を基に算出しておりますが、現在運営していただいております。

す施設を支援の対象としたいと考えております。

#### 須見委員

各施設とも電気料金がかなり値上がりしており、かなり負担があるということを多く聞いておりますので、しっかりと早い段階に届けていただきたい。

今回支給に当たっては、その手続等も、行政側にも申請する側にも負担が掛からないように、できるだけ簡素化するなり、何か対策を考えて、お互いに楽な感じで、スムーズに必要なところに届けられるような仕組みをしっかりと考えていただきたいと要望して終わりたいと思います。

#### 古川委員

概要を説明していただきました。今日は文教のほうもやっているみたいで、子供の施設以外にもどんどころが対象になるのか把握されていますか。

#### 高島次世代育成・青少年課長

当部に係るものにつきまして、先ほど申しましたとおり、保育施設、児童養護施設でございます。保健福祉部の所管では、高齢者施設、障がい者の施設が対象になっているように聞いております。

#### 古川委員

高齢者施設、障がい者施設も横並びでやっているということです。

今回、電気料金に特化してやるということなんですけれども、運営していく中で、物価高の影響が様々に出ていると思うんですけれども、電気料金にした理由があれば。またほかの部分に関してはどのような考え方でいるのか、教えてもらえたらと思います。

#### 高島次世代育成・青少年課長

今回の支援につきましては、コロナ対策といたしまして、換気を行いつつ、例年のない猛暑への対応といたしまして、緊急的に熱中症予防を目的として危機管理調整費を活用させていただき支援でございます。まずは、施設の利用時におきまして、しっかりと空調を効かせていただいて、熱中症予防につなげていただきたいと考えております。

また、委員がおっしゃるような物価高騰など、その他の様々な影響への対応につきましては、社会福祉施設に不均衡なく支援を行うためには、やはり十分な財源をはじめとして各種の制度の見直し等々が不可欠でございます。本来であれば、施設全体を総括いたしております国において、必要な対策を講じられるべきと考えております。

このため県におきましては、全国知事会、先週の7月29日にもございましたが、このときにも要望いたしておりますが、あらゆる機会を通じて、国に対して提言等をしていきたいと考えております。

今後とも、各施設の現場の声をお伺いしながら、国の対策などをしっかりと注視してまいります。

古川委員

熱中症の関係もあるということで、電気料金が上がって始末することがないようにという、そのあたりは理解できます。

あと、全般的な部分については国のほうでということ、確かにその部分もあると思います。知事会からもはっきり言ってくれたということなので、引き続きしっかり国のほうに要望を上げて、地域の状況をとにかく国に伝えていくことが大事だと思いますので、そのあたりはしっかり徹底してやっていってほしいと思います。

この間、物価高騰対策の地方創生臨時交付金を新たに創設して、うちの県も40億円余りが交付されたところ。また、第2次の交付金を上積みするという動きがかなり顕著になっています。実現するんだろうなと思っていますので、そのあたりの使い道も、国のほうにそういう動きが出た場合は、すぐに対応ができるように、今から準備をするとか、そのあたりもしっかりと進めていってほしいと思います。よろしく願いいたします。

あと、この危機管理調整費は、多分一般財源で積んでいると思うんですけども、もしさっき言った第2次の交付金が出た場合は交付金に乗り換えるみたいなことも考えているんですか。

高島次世代育成・青少年課長

交付金が増額されるような場合につきましては、交付金を充当させていただきたいと考えております。

古川委員

先ほどの点はいろんな影響が出てくる。また、今後かなり厳しくなってくると思いますが、特に困難な事例を抱えている施設は、公設では今なかなかできないので、半公共的に民間のほうで頑張ってくれている部分があります。そういうところにしっかりと目配りをして対応していってほしいと思います。半公共施設という観点でやっていってほしいと思います。よろしく願いいたします

増富委員長

ほかに質疑はございませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、未来創生文化部関係の調査を終わります。

これをもって、総務委員会を閉会いたします。（10時45分）